

活動名：第 14 回福島空港公園杯ジュニアサッカーフェス U12

日 程：令和 5 年 6 月 10 日（土）・11 日（日）

会 場：福島空港公園 緑のスポーツエリア 多目的運動広場

参 加：「アーレ T チーム」 T5（9 名）・T6（3 名）計 12 名

帯 同：設楽コーチ

サポート：10 日貝和コーチ、11 日佐藤コーチ

結 果：リーグ

VS アーレ L100 0：5

VS 岩根 B 0：3

VS 猪苗代 0：6

VS グランツ 2：6

VS 中央ドリマ 0：7

VS 岩根 A 1：6

7 位/7 チーム

報 告：設楽

この大会は（公財）福島県都市公園・緑化協会が主催するサッカーフェスティバルとして歴史があり、14 年目を迎える大会ですが、アーレは全て出場してきました。

今大会は U12 に 2 チーム出場、U10 に 2 チーム参加し、チーム分けはリフティング記録によって人数を均等にしてチームを作り出場しました。

このアーレ T チームは、T6（6 年生）の 3 名が加わり、T5（5 年生）を主体としたチームになりました。

5 年生主体のチームでしたが、6 年生にチームキャプテンをお願いしたところ、積極的に引き受ける子がない中、五年生のようせい君が志願してきました。しかし 6 年生の立場が無いので、6 年生 3 人の中からキャプテンを選出するように伝えたところ、かずき君が仕方なくやってもいいということで引き受け、キャプテン業を与え初日の試合前のチームづくりがスタートしました。

この大会は必ずみんなが試合に出場しなくてはなりません。

レギュラーやサブといったものは無く、全員出場で戦うルールです。そして、素晴らしい生育の天然芝ピッチでプレーをして、様々な経験をしてもらうことが目的です。そのようなことから、チーム力を均等にしながら戦うことが求められ、コーチ達も選手のメンバー組みにはひと苦労です。

さて、アーレ T チームは 12 名の参加者数だったので、8 名の試合出場と 4 名の控え選手の構成になり、ポジション選出で一番大変なのは「キーパー役」を誰にやってもらうかでした。自分からやりたいと言ってくれる子もいますが、興味だけでキャッチ技術が無いのに「やりたい気持ち」がある子も中にはいて、戦力といった考えからなるべく平等に与えるポジションになってしまうので、なかなか失点が多い結果にもなりました。

今大会はキーパーを含めていろんなポジションを経験してもらい、自分に合っているポジションを感じてもらおうと考えていたので、様々なポジションを経験してもらいました。

6年生の3名は控えめな性格なので、5年生を試合で引っ張る気は感じられませんでした。自分ができるところを出し切る姿勢はみまれました。

5年生たちも6年生からのプレッシャーを感じることもなく伸び伸びプレーしていました。

チーム一丸となって試合に挑む姿勢は見られない様子だったので、キャプテンには自主的にアップリーダーを頼み、みんなをまとめる気持ちになってもらいました。二日目になるとリーダーシップの姿勢が見られ、みんなはかすきキャプテンの指示に従い、オフザピッチ（試合以外の時間）ではまとまって行動し、仲良くやっている姿が見られたのでチームの状態になって良かったです。

このメンバーはL100クラスにチャレンジする気持ちは薄いため、家庭での自主練の様子も？ですが、試合では自分がチームのために戦う気持ちや味方をサポートする気持ちを持って戦ってほしいので、試合中のコーチングも私から厳しいメッセージを送りました。

特に、相手のボールを必死に奪いに行くプレー、抜かれてもくらいついて追いかけるプレーは求めました。また、子どもたち個々において、自分がどれだけのプレーができるのか？も日々の練習ではない試合での感覚で感じてもらうことができたと思います。

ボールを思ったところへ運べるか（ドリブル）？

思ったところに蹴れるか（パス）？

強いキックはできるか（シュート）？

相手のボールの奪い方は？

20分間走れる体力は？・・・etc

このようなことに気づくことができると、もっと練習を頑張ろう！という姿勢が育まれ、今までと違った練習姿勢が期待できるので、向上心をもって練習に参加してほしいと思います。

「試合に出たい！出たい！」といった気持ちをアピールする子が多かったのですが、試合をするだけの「楽しさ」で終わっていたので、その「楽しさ」を勝負に勝つことに向けて自分の弱い、苦手なプレーを克服したい気持ちをもっと練習で出してほしいと思っています。

チームとしては一勝もできませんでしたが、得点できた場面や相手の良いプレーを防ぐ場面も見られたので、得点できた子は自信になったと思います。

まだまだ伸びしろがある子たちなので、また練習で鍛えていきたいと思います。

保護者の方々には、お子様の送迎のみならず、ゴールやテントの設営や片付けなどを積極的にご協力いただきありがとうございました。

大会会場では子どもたちを応援するアーレファミリーとして「アーレタオルマフラー」を着用してもらっています。大会に初めて参加される保護者の方々もいたので、次大会では保護者全員が「赤」をまとった応援団の姿で会場を演出していただけることを楽しみにしています。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

コーチ：設楽







